



### 第3章 高齢者保健福祉事業の 実績

- 1 高齢者保健福祉サービス
- 2 高齢者の健康づくりの増進
- 3 高齢者の社会参加と生きがい  
づくり
- 4 高齢者の生活環境の整備
- 5 地域で支えあう体制づくり

# 1 高齢者保健福祉サービス

## (1) 施設サービス

### ① 養護老人ホーム

環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な高齢者が入所する施設であり、入所基準に沿って必要な方への措置を実施しています。

養護老人ホームへの措置入所者の実績は、横ばいで推移しており、計画数を下回っています。

なお、当別町立長寿園は平成22年度より民営化し、社会福祉法人により運営しています。

区 分		20年度	進捗率	21年度	進捗率	22年度	進捗率
措置者数	計画(人)	14		16		18	
	実績(人)	12	85.7%	12	75.0%	12	66.7%

区 分		20年度	進捗率	21年度	進捗率	22年度	進捗率
施設整備	計画(箇所)	1		1		1	
	実績(箇所)	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
	定員数(人)	50		50		50	
	実績(人)	50	100.0%	50	100.0%	50	100.0%

### ② 高齢者福祉センター

60歳以上の方を対象にコミュニケーションを深め、健康で楽しい生活を送れるように、入浴や休養、娯楽などの場を提供し生きがいを支援します。

区 分		20年度	進捗率	21年度	進捗率	22年度	進捗率
施設数	計画(箇所)	1		1		1	
	実績(箇所)	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%

## (2) 在宅サービス

### ① 除雪サービス

除雪サービスの利用世帯数は、ほぼ横ばいで推移しています。利用世帯の約80%は75歳以上の世帯となっています。

区 分		20年度	進捗率	21年度	進捗率	22年度	進捗率
除雪サービス	計画数(世帯)	130		132		134	
	利用者(世帯)	126	95.0%	117	88.6%	124	92.5%

## ② 配食サービス

配食サービスの初回利用者については、生活状況を調査し適正な利用について会議で決定しています。利用者数は横ばい傾向にあります。

社会福祉協議会に委託し、ボランティアと連携しながら食事を届けるだけでなく安否確認も含めて実施しています。

区 分		20年度	進捗率	21年度	進捗率	22年度	進捗率
配食サービス	計画数(人)	34		35		36	
	利用者(人)	32	94.1%	39	111.4%	35	97.2%
	計画数(食)	4,340		4,392		4,444	
	延食数(食)	4,170	96.1%	5,127	116.7%	4,656	104.8%

## ③ 緊急通報サービス

65歳以上のひとり暮らし高齢者世帯などに対し、緊急通報装置を設置し、24時間対応により日常生活の安心の確保を図るサービスです。利用世帯数は若干減少傾向にあります。

区 分		20年度	進捗率	21年度	進捗率	22年度	進捗率
緊急通報サービス	計画数(世帯)	62		67		72	
	利用者(世帯)	63	101.6%	61	91.0%	55	76.4%

## ④ 外出支援サービス

介護保険サービス対象者や障がい者自立支援サービスの対象者で、移送サービスの必要な方に対して実施しています。

町では、当別町福祉有償運送運営協議会を立ち上げ、福祉有償運送事業の必要性や実施する場合の安全の確保、利用者の利便性の確保について協議しています。

区 分		20年度	21年度	22年度
福祉自家用有償 旅客運送	要介護認定者(人)	22	29	29
	身体障がい者(人)	42	48	62
	運送回数(人)	1,012	1,714	2,077



## 2 高齢者の健康づくりの推進

### (1) 健康づくり活動の推進

保健推進員や食生活改善協議会等地区のリーダーを育成、活動の支援を継続し、地域の中で健康福祉出前講座を行い地域の人々が集まり、健康の維持・増進のための情報を知る機会を積極的に設けています。

運動や食生活、こころの健康、歯の健康等、健康づくりにつながるテーマで当別町健康づくりセミナーを開催し、広く地域の住民に対し健康づくりに向けての啓蒙・普及に努めています。

### (2) 健康教育、健康相談機会の充実

健康に関する適切な情報を得て、主体的に健康づくりを実践することが重要であることから、介護予防や運動、栄養に関することなど健康づくりのための高齢者健康講座を実施しています。

地域の高齢者クラブを中心に地域会館など身近な場所で相談を受けることができる機会を提供しています。

区 分		20 年度	21 年度	22 年度
健康教育 (高齢者健康講座)	回数	23	34	19
	人数	582	815	364
健康相談 (高齢者健康相談)	回数	19	34	34
	人数	372	498	498

### (3) がん検診、健康診査の推進

がんの早期発見・治療のために各種がん検診や基本健康診査、特定健康診査、後期高齢者健康診査について、関係機関と連携しながら、広報等での周知に加え、保健推進員による検診の周知と受診勧奨や健康教育、健康相談の機会を活用し、勧奨活動を行っています。

### (4) 感染症予防の推進

食中毒が流行する季節に合わせて、看板の設置や広報等での予防のための情報発信を行っています。

インフルエンザの予防、ワクチンに関する情報をタイムリーに発信するよう努めています。

### 3 高齢者の社会参加と生きがづくり

#### (1) ボランティア活動の推進

町民に対しボランティア活動への参加を促進し、ボランティア同士の情報交換や交流、地域における高齢者などのニーズに応じたボランティア活動の推進などボランティアセンターを核とした活動の推進を支援しています。

平成20年度に登録者を見直したことで人数が整理されており、平成22年度には学生ボランティアが統合され大幅に登録人数が増加しています。

区 分		20年度	21年度	22年度
ボランティア登録数	実績(人)	224	279	1,044
高齢者ボランティア登録数	実績(人)	108	126	203

#### (2) シルバー人材センター活動の充実

会報「とうべつシルバー」を年2回発行し、シルバー人材センターの活動を町民に周知し、会員の加入拡大、組織体制の充実を図り、高齢者の就業機会の拡大を図っています。

新たに加入する方もいますが、高齢による退会者が増加している状況により会員数があまり伸びない状況となっています。

区 分		20年度	21年度	22年度
人材センター登録者数	実績(人)	205	216	207

#### (3) 高齢者クラブ活動の充実

現在32クラブが活動しており高齢者の自主的な活動を通じた生きがづくり、地域コミュニティを継続できるよう支援しています。

若い高齢者の方の入会が少ないため年々会員数が減少傾向にあります。

区 分		20年度	21年度	22年度
高齢者クラブ連合会会員数	実績(人)	1,576	1,503	1,425

#### (4) 交流の機会、生きがづくりの支援

##### ① ふれあいスポーツ大会の開催

スポーツを通じ高齢者の健康保持と生きがいを高め、身体障がい者の社会参加を促進するため、実行委員会を組織し開催しています。

区 分		20年度	21年度	22年度
スポーツ大会参加者数	実績(人)	475	462	488

## ② 高齢者大学「ことぶき大学」の開催

高齢者が生きがいをもって暮らせるよう、学習機会の提供と社会参加を進めるため、各種講座・講習の機会を提供しています。

講座の内容を創意工夫し、受講生がより積極的に参加できるよう勧めていきます。

区 分		20 年度	21 年度	22 年度
ことぶき大学	登録者数(人)	43	47	44
	開催回数(回)	21	20	19
	参加者数(人)	486	474	424

## ③ 当別町健康福祉出前講座の実施

北海道医療大学や社会福祉協議会、NPO法人、町の職員などが講師となり、町内会、女性部、高齢者クラブなど5人以上のグループであれば誰でも身近な地域の会館などで出前講座を受けることができます。

利用状況は実施回数、人数とも年々増加しており、高齢者も多く活用されている状況です。

区 分		20 年度	21 年度	22 年度
健康福祉出前講座 (全体)	開催回数(回)	85	125	154
	参加者数(人)	1,604	3,365	4,485
健康福祉出前講座 (高齢者実施分)	開催回数(回)	37	47	36
	参加者数(人)	925	1,109	895



## 4 高齢者の生活環境の整備

### (1) 住宅相談体制の充実

高齢者が安心して在宅での生活が送れるよう、緊急通報サービスや配食サービスなど必要とする在宅福祉サービスの調整や、退院後の自宅で生活するうえで必要となる住宅改修などの環境整備について、地域包括支援センターを中心に関係機関が連携し相談体制の充実に努めています。

### (2) 公共公益施設等のバリアフリー化

高齢社会において、特に車いす等を使用する高齢者の増加が考えられることから、新たな公共公益施設の建設時にはスロープやトイレの改良等バリアフリー化を考慮した整備を行っています。

### (3) 地域公共交通の充実

高齢者の通院や買い物、閉じこもり防止など移動手段の確保は重要な課題です。

「当別ふれあいバス」は5年間の実証運行を行い、平成23年4月より本格運行しています。

当別ふれあいバスは高齢者が使用しやすいノンステップバス車両を平成21年度に初めて導入し、翌平成22年度も導入したことにより、運行車両4台のうち2台をバリアフリー対応としております。

バスの低床化や車いす対応スロープ、音声映像案内システムを整備し高齢者が利用しやすいバス運行に努めています。

## 5 地域で支えあう体制づくり

### (1) 社会福祉協議会の役割の推進

当別町地域福祉計画と連携する地域福祉実践計画のもと、地域支え合い事業の推進など町民主体の活動が推進されるよう、様々な町民への支援を行っています。また、地域のボランティア活動を通じて、地域の見守りや支えあう関係づくり等、住民への啓発事業を実施しています。

区 分		20年度	21年度	22年度
当別町社会福祉協議会 推進事業	愛の訪問サービス(人)	42	40	38
	心配ごと相談(件数)	4	7	7
	地域福祉権利擁護事業 相談件数(件数)	1	1	2

### (2) 民生委員・児童委員活動の推進

民生委員・児童委員は地域にあって住民の生活状態や福祉ニーズを直接把握できる立場にあることから、住民・行政・関係機関のパイプ役としてお互い緊密な連携を保ち、高齢者が地域で安全に安心して暮らせるよう支援しています。

### (3) 高齢者虐待の防止

高齢者虐待の窓口として、施設における身体的虐待も含め個別の事例への相談支援を実施しています。関係機関と連携しながら、必要時訪問や処遇検討会議を開催し具体的支援を行っています。

当別町高齢者虐待予防ネットワークメンバーにおいて虐待事例に関する支援状況の共有や地域における高齢者虐待及び対応に関する意見交換を行っています。

### (4) 災害要援護者への支援

災害時に自力での避難が困難な高齢者や障がい者に関し、民生児童委員連絡協議会では、災害時要援護者台帳の作成・見直しを行い、当別町役場、当別消防署、社会福祉協議会、町内会に配布しています。また、要援護者の避難先としての福祉避難所の整備について、検討しています。今後、台帳の共有化、情報の共有化をどのように図るかは課題であり、支援体制についても細部の検討が必要です。

